

精神障害者 地域で共に バリアフリーGH開設@愛媛県



精神科病院を退院した人に地域で安心して暮らし続けてもらおうと、バリアフリー構造のグループホーム「みなも」（定員10人）が4月、松山市宮西3丁目にオープンした。市内でグループホームや就労継続支援B型事業所など10施設を運営するNPO法人どんまい（松山市）による初の試みとなる。

統合失調症などの精神障害は若年期に発症するケースが多く、副作用のパーキンソン症状により足が上がりにくかったり、手が震えたりする人がいる。入院生活で運動機能が落ちてきているケースもあり、バリアフリー化が課題となっているという。

「みなも」は2階建てで個室10室とエレベーターを備える。各階にトイレや洗濯室があり、1階の5室中1室はトイレ付きで介助の際にも利用者のプライバシーが守られる。共同の浴室には手すりを取り付け、介助しやすいよう左右に可動する浴槽を設置されている。

風呂・トイレとキッチンスペースのある1LDK仕様の部屋も2室あり、グループホームを出て1人暮らしを目指す人の訓練のために使われる。

昼間は働いたり、デイに行ったりする入居者が多く、スタッフが朝夕食事を作って提供する。居室の出入り口は全て引き戸で、わずかな段差もないよう工夫されている。

従来のグループホームはアパートや一戸建てを借りて運営しており、精神科病院から退院した人も高齢化が進み、既存施設では住みにくいケースが出てきたため新設を決めた。

全国的に精神科病院からの退院者は増加しており、障害者の高齢化・重度化も進んでいることからバリアフリーGHのニーズは高まるだろう。

～介護ビジネス研究会のご案内～

介護事業経営 特別公開セミナー

＜講師＞小濱 道博先生

4月後半まで要したQAと大幅に遅れた疑義解釈の理解は万全ですか？

『激変の平成30年度介護報酬改定の最終確認と

早くも始まった次期2021年度改定への準備対策

新制度スタート後の万全な実地指導対策のポイント』

日時：2018年5月30日（水）
13:30～16:30（受付13:00～）

会場：じゅうろくプラザ5階 小会議室①
岐阜市橋本町1-10-11

参加費：無料

お問合せは
こちらまで

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当：苅谷

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL:0120-337-301 FAX:0575-24-5733

<http://www.nodakensetsu.co.jp>

[mail:kriya@nodakensetsu.co.jp](mailto:kriya@nodakensetsu.co.jp)

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、
FAX:0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内不要
(会社名をご記入ください)